

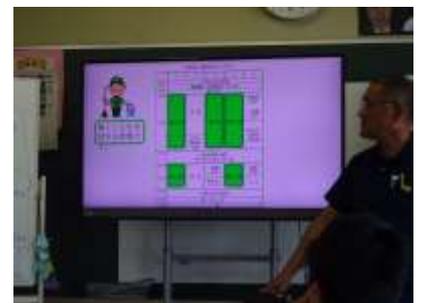
今回は、中学部の様子や高等部の現場実習の取り組みについて、紹介します。

## 中学部

中学部3年生は、1学期末に高等部の先生に講師としてに来ていただき、進路学習を行いました。中学部と高等部の時程の違いや班別学習など、「仕事」をするための技能や態度を養うための学習が増えることを知りました。特に、中学部と比べて作業学習の時間が長くなることや、職業の学習時間が増えることなど、卒業後を見据えた時程になっていることを教えていただきました。

また、高等部を卒業してからの進路先を先輩たちの働く姿の写真を交えて具体的に教えていただきました。様々な進路先で活躍している先輩たちも、進路を決定するために何度も実習を重ねて作業内容を身に付けていったことなど、高等部での取り組みがよく分かる内容でした。

その中でも、「仕事の7つ道具」の「①時間を守る」、「②あいさつをする」、「③きまりを守る」、「④身だしなみを整える」、「⑤自分で健康管理をする」、「⑥正しい言葉づかいをする」、「⑦『やる気』をもって一生懸命する」を高等部では意識して日々生活していることを教えていただきました。進路学習後も仕事の7つ道具について教室に掲示し、一人一人が今できることについて考え、日々の活動で取り組んでいきます。



## 高等部 2学期の現場実習



丁寧 衛生

安全 正確 速さ



高等部では、9月30日(月)～10月11日(金)の期間が2学期の現場実習です。他校との調整や事業所の状況等により、9月17日や24日から校外実習を行っている生徒もいます。また、10月末頃まで実習を予定している生徒も数名います。本校では、2学期の実習は、1年生は校内実習、2年生は個別の体験実習、3年生は個別の前提実習になります。現場実習を繰り返し、生徒に適した卒業後の活動や就労の場を、生徒・保護者・学校(事業所)とで話し合いながら決めていきます。

1年生は、普段生活している教室を「にこにこビジネスファクトリー」という名称の会社に見立てて、校内実習に取り組みます。主に、箸入れや梱包作業等の軽作業の仕事を通して学習します。時間を守る、敬語(丁寧語)を使う、「正確さ」と「効率(速さ)」を意識しつつ一生懸命に取り組む、等、基礎的な働く力を育てていきます。決意表明式では、一人一人が堂々と自分の目標を発表することができていました。

2年生は、6月に実施した集団(2～4名)での校外体験実習の経験を経て、この度は、個別で校外の事業所へ実習に行きます。初めての現場(実習先)に、付き添いの教員や同級生の居ない、1人で参加するという、1学期よりもハードルの高い内容になりますが、得るものの多い経験になることを願っています。

3年生は、ほとんどの生徒にとって「卒業後の就労・利用を前提」とした最後の実習です。この実習の終了後、各事業所・企業から卒業後の利用や就労の可否が決定します。

※一部生徒は就労開始時に、よりスムーズに勤務に取り組みめるように、11月～12月頃や、3学期に期間を設定して、就労前実習を実施する人もいます。

10月2日から、岡山県最低賃金が50円引き上げられて時給982円になりました。これは、雇用契約のある就労の場合に適用されます。